



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB  
藤枝南ロータリークラブ会報

2017-2018年度 R1テーマ  
ロータリー:

変化をもたらす



例会：毎週金曜日小杉苑  
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300  
FAX:054-647-2040  
E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：江崎 直利 副会長：飯田 敏之  
幹事：桑原 茂 副幹事：漆畑 雄一郎

第1248回

♪ソング… われら日本のロータリアンの歌・たき火  
♪ソングリーダー… 瀧脇 一啓君

通常例会/小杉苑



IT委員会

2006.7.28



■ 会長報告

江崎 直利君

先日アサヒから分冊形式のDVDで黒澤作品シリーズが発売になりました

第1巻は時代劇三船敏郎の用心棒です、今の時代劇ドラマはほとんど現代劇俳優が片手間に出ているしだいたい東映の太秦での撮影ですので背景が同じでつまらないのですが、昔の時代劇は時代劇専門役者や撮影の背景はまだ建物が残っていたり費用をかけていたのでリアリティがありました

さて当時の年収を現代に換算した場合の本がありましたので、そこからご紹介しますたとえば町奉行は約年収一億2600万円、与力で1800から2400万円同心が300万円、岡っ引きは75000円、とても暮らしていけず

別に職業を持っていました

大岡越前が2億160万円、遠山左えもんは3億1500万円、武士は収入が609万支出が600万くらい農民が395万に335万の支出、大店主人が88億5000万 奉公人は120万から180万、番頭が300万、大工は798万で日給27000円 髪結い職人が一人2400円で月収60万。



## ■ 理事会報告

桑原 茂君

- ・12.1月プログラムについて、承認されました。
- ・職場訪問例会について、12:10~15:00まで、途中退場は出来ません。写真撮影は、クラブの決まった方のみ出来ます。
- ・年忘れ夜間例会について、12月22日(金)18:30~20:30小杉苑にて開催。余興にフレーザーバーテンダーパフォーマンスやお肉の特設鉄板焼をします。
- ・地区大会について、集合場所は駐車場側の階段2階上り口辺りに8:20集合。焼津駅から文化センターまえシャトルバスが出ます。ご利用下さい。11/10にMUを小杉苑にて受付します。
- ・賀詞合同例会について、18:30に開始予定です。
- ・11月12月事務局休暇について、11月13日(月)・12月5日(火)事務局閉局。冬季休暇は、12月27日(水)~1月8日(月・祝)です。

## ■ 幹事報告

桑原 茂君

- ・第2620地区より  
2017年11月のロータリーレートは、1ドル=114円です。  
(参考)10月ロータリーレート:112円

## ■ 出席報告

古川 賢吾君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
36/48 75.00%	44/48 91.67%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 池ヶ谷君 ○梅島君 ○加藤君 ○川口君
- 佐野芳君 ○鈴木照君 ○樽井君 ○富澤静君
- 早川君 ○渡辺君 ○竹田君

(2)メイクアップ者

- 富澤 静雄君(焼津南) 伊藤 彰彦君(焼津南)
- 早川 清人君(焼津南) 松浦 正秋君(焼津南)
- 望月 誠君(焼津南) 梅島 純夫君(焼津南)
- 加藤 智之君(焼津南)

## ■ スマイルBOX

古川 賢吾君

- ・誕生日プレゼントありがとうございました。57才になりました。 樽井 勉君
- ・いよいよ、11月3日第9回のコスモス畑イベントです。台風で倒れたコスモスの復活を祈っています。 江崎 直利君

- ・2度目の台風が心配です。どうか綺麗なコスモス畑でありますように… 桑原 茂君
- ・来る、10月30日小杉苑開業50年の記念祝賀会に多数の会員の方々にご出席のご連絡を頂きありがとうございます。当日は限られた時間ですが、十分に楽しんでいただければ幸いです。心よりお待ち申し上げます。 朝比奈 潔君

スマイル累計額 254,000円

## ■ 会員卓話



伊藤 彰彦君

本日は、私の思い出話をというテーマを与えられ、しかも30分話すということで考え込んでしまいました。正直言って、「何も面白い話はありません」と一言で終わらせたいくらいでしたが、60年も生きて来て、人前で何も自分の人生で話ができることが無いのか?とヒンシュクかいそうなので、今日は私が社会人になって最初のころのお話をさせていただきます。

人の思い出話に30分付き合うのはつらいでしょうが、お付き合いのほどお願いいたします。

できれば、皆さんも関係するような話がいまいかと思い、商工会議所に入所した当時のお話をさせていただきます。

1. 商工会議所の歴史(昨年小林さんが会頭の時50周年を実施、記念し発刊)

S41年に日本商工会議所法により、藤枝商工会から商工会議所へ変更。初代会頭は伊達新一さん(全国商工会連合会長)静岡県で15番目の商工会議所として誕生。

にもかかわらず、私が入った当時は、議員さん以外は大抵の商工業者の方は「商工会」と呼んでいました。

私は大学卒業後、藤枝商工会議所に入れてもらいました。丁度昭和56年です。私は生まれも育ちも静岡市内でしたので、外から来たものがその当時の藤枝をどのように見たか、また、商工業の状況についてお話しさせていただきます。

ます。多分、ここにいらっしゃる皆さんのお父様が第一線で働かれていた当時のことになりますので、そんな時代だったんだという感じで聞いていただけたらと思います。

私が丁度大学3年の11月に父が退職金をあてにして、音羽町に家を新築しました。あのころ、私達が住んでいました安東は静清バイパスの取り付け道路として拡張が予定されており、立て直すにも土地の使用が制限されていたこともあり、藤枝に越してくることになりました。ですから、藤枝には親戚もなければ知り合いもないので、就職についても実は静岡にある企業に就職しようと思い就職活動をしていました。そんな中で、たまたま静岡の商工会議所の求人票があったので申し込みをしたところ、私の大学は指定校にはなっていないので就職をしたいなら県の実施する経営指導員試験を受けてから再度申し込みをなささいというちょっと気分の悪い対応をされました。一応経営指導員試験を受け無事に合格したところ、突然藤枝の商工会議所から電話があり、なんで藤枝に住んでいて静岡の商工会議所を勤務地の第一希望にしたのか？と言われ、藤枝でも経営指導員の増員計画を県に申請しているので、採用を検討するから面接に来いと誘われ面接に行くことにしました。しかし、当時の商工会議所は、保健所が使用して古くなった建物をそのまま利用していましたのでまさかこんなおんぼろの木造小屋が商工会議所会館とは思わず、入り口を何度も行ったり来たりして探していたところ、中から背の小柄な50代ぐらいのおじさんが出て来て、「何をしている。ここが君が受験しようとする商工会議所だ。」といわれ唖然としたのを覚えています。(この時出てきた人物こそ、当時を知る人には有名な専務理事でした。)なにせ、廊下は驚張りができしみが響く廊下ですし、就職してから分かったのですが、雨が降るとバケツをもって雨漏りしている所に置くのが職員の仕事でした。

採用面接は一階の応接間で当時の会頭の西野重雄さんと副会頭の鈴木誠さんが座っていました。そして開口一番聞かれたことは、「君は酒が飲めるか？」という質問でしたので「一応人並みには飲めます」と答えたところ、「具体性がない」と怒られ、「今まで一番

飲んだ量を言ってみなさい」と言われたので、「一応一升飲んだことはありますが、その後の記憶はありません」と答えたところ、会頭と専務がにっこりして「採用決定するから、このあと静岡の商工会議所から受験の案内が来ても受けに行かないように」とくぎを刺され面接はこのあと一切の質問もなく終わってしまいました。

静岡の商工会議所にはあまり良いイメージがなかったのが藤枝の会議所に入ることにしました。この後、専務が自宅に訪ねて来て、商工会議所は団体職員なので公務員に準じて給与も決められているし、退職金は市役所の職員より優遇されている。休日も土曜は半ドン、日曜祝祭日は休みなので、十分休養がとれ、趣味も出来る。また、商工会議所の会館も新たに立て直す計画があるので安心して働ける。といいことづくめの説明をされ、私も父も大喜びで就職を決定しました。(当時は会館建設の話は一切ありませんでした。後日入所後知らされました)

ところが、入ってみて一番驚いたことは、丁度4月に金毘羅さんの桜祭りがあり、(昭和55年が第1回目でした)前日の土曜日から提灯付けや野点やお琴の会場準備から当日の先生方の送り迎え、荷物を運んだりとてんでこ舞いをさせられ、更に4月には国民珠算大会の地区予選があり、こちらに応援で駆けつけ、5月、6月は珠算検定に簿記検定の立ち合いなど、ほとんど土曜・日曜は休ませてもらえませんでした。また、この年から蓮華寺池公園の花火大会が始まりました。更に採用時に私が酒を飲めるか尋ねられた大きな理由は、商工会議所には多くの外郭団体があり、その総会シーズンが5月に集中し、更に商店街の総会や組合の総会等職員が手分けして出ていました。しかも、外郭団体の場合は、1次会では終わらせてもらえず2次会3次会までお付き合いした後、上司とお疲れさん会をしますので、ほとんど帰りが午前様でした。

ですから、酒の飲めない職員はかなり大変でした。これも採用後よくわかりました。また、あの当時は商工会議所の議員さんは絶対的な権限を持っていましたので、私が採用された初日に電話を取らされたとき、「もしもし、商工会議所です」とでたところ「お前は誰だ？俺だ

けど専務を出せ」といきなり言われたので「伊藤といいます、そちらのお名前も名乗らないのは失礼ではありませんか？」と負けず嫌いな性格の為言ってしまったところ、「今からそちらに行くから待ってろ」と電話を切られてしまいました。

数分後に恰幅の良い 60 歳ぐらいの男性が入ってきて、「さっきの生意気な小僧はどこだ？」と言われたので、出ていこうとしたところ、専務理事が慌てて応接にその方を通して、ひたすら謝っていました。とんでもないところに入ってしまったと、後悔しました。この方こそこの当時有名な市議員もやっていた T さんです。でも、この件以来、私が出ると、「伊藤君か。T だけ専務はいるか？」という対応してくれるようになりました。この当時の人は最初大変とつきにくいところがありますが、話をしていくうちに打ち解けて、面倒見がよくなる人が多かったように思います。

私が入所した 56 年ごろに、丁度工業集団化事業が立ち上がったたり、喜多町振興組合の商店街活性化事業が立ち上がりました。藤枝駅前商店街は、全国各地からレンガ通り商店街としてアーケード事業が目され、よく視察が来ていました。私も、喜多町商店街の街路灯事業のお手伝いをさせていただきました。

この当時は、大型店が出店競争をし、藤枝にもユニーや西友などが次々に出店計画を出してきましたが、当時は「静岡商調協」といって、静岡県は大型店が出店しにくい状況にありました。今でも覚えているのは、商店街の人たちが、静岡の商工会議所の 1 階事務所に押しかけて来て、職員を人質にロックアウトしたことです。丁度私も経営指導員の仕事の件で上司である A さんに連れられ静岡の商工会議所にいた時、この場面に出っくわしました。地元商店街の人たちの死活問題だということで、すごい迫力で乗り込んできたのを目の当たりにしました。それに比べれば、藤枝の商調協はここまで過激なことはありませんでした。

昭和 50 年代の商工会議所を取り巻くお話でした。長時間ご清聴ありがとうございました。



大学生で東京にいる息子が、先月 9 月で 20 歳になりました。

変わったヤツだなと思ったのですが、本人曰く、20 歳になる迄は全くお酒を飲んでいなかった様で、それなら 20 歳になるのだから“一緒にお酒を飲むか？”と誘ったところ、“お酒を飲むと脳細胞が死滅していくので飲まないつもりだ！”という訳の分からないつれない返事が返ってきてがっかりしました。

そんなことを言っていますが実は、私が酔っ払って帰宅した時にタクシーに乗るや否や爆睡してしまい帰宅困難になり周りの方に迷惑をかけたり、異国の地で酔っ払った後 ホテルの部屋のトイレで、便器の前に正座をして便器にブツブツ話しかけ、同室の某中山さんに迷惑をかけたりと、飲酒で醜態を晒している父親の姿を見てのことだろうとショックを受けました。

しかし、いざ 20 歳になると、息子も流石に大学の先輩や友人そして女の子の誘いを断れなく、結局お酒を飲み始め、お酒の良さ・楽しさを実感したらしく、お陰様で私が東京に行った時や息子が帰ってきた際には、一緒にお酒を楽しめる様になりました。

これからは時々息子とお酒を飲みながら語り合える、これが私の何だかうれしいです！



# 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/3(金・祝) 第 1249 回	移動例会② (お花畑事業)	青少年事業
11/12(日) 第 1250 回	地区大会	
11/17(金) 第 1251 回	職場訪問例会	静岡県警察学校
11/24(金) 第 1252 回	地区大会報告	

## ■ 今週のこの人

杉浦 聡君



理事会、例会、確認事項満載！  
幹事、大活躍 ！！

(担当／杉浦君)